

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

＜先週の説教から＞

『イースター・詩編 ④ - 再び起き上がる！』

武田真治牧師

詩編 41:1-14 マタイ 28:1-10

毎月末に詩編を読み進めています。本日の詩編41編はまさにこの復活日・イースター礼拝に関係の深い詩編であり不思議な神様の導きを私は感じています。

この詩編のどこがイースターと関係しているのかと申しますと、その10節「わたしの信頼していた仲間、わたしのパンを食べる者が、威張ってわたしを上げにします。」が新約聖書でイースターに関わる重要な出来事の中で引用されているからです。察しのよい方はお分かりになられたのではないかと思います。それはヨハネ福音書13章18節で、ちょうど“最後の晩餐”の場面です。イエス様が弟子たちの足を洗われた後、食卓に付いている弟子たちを見ながら、この中からわたしを裏切ろうとしている者がいると言われ、皆が驚いている時に、「しかし、『わたしのパンを食べている者が、わたしに逆らった』という聖書の言葉は実現しなければならぬ。」と語られます。その“聖書の言葉”こそ、この詩編41編10節だったのです。イエス様はこの詩編全体の内容をよく知った上で、この言葉を選ばれたのだと思います。

なぜなら、この詩編は「病の床にある」人が神様に祈っているのですが、問題は「敵はわたしを苦しめようとして『早く死んでその名も消え失せるがよい』と酷いことをやっている“敵”がまさに「わたしの信頼していた仲間、わたしのパンを食べる者」だからです。つまり、昔からの友人や家族が反逆していると。故に「見舞いにくれば、むなしいこと(=大した病ではない、すぐに治るから)を言いますが、心に悪意を満たし」ており、「皆、集まってささやき『二度と起き上がれまい』」と言うと。おそらくこの背後には、財産や地位の奪い合い、家督争い等があったと考えられます。

このような状況の中で、この病の祈り人は「主よ、どうかわたしを憐れみ、再び起き上がらせてください」と必死に祈ります。この「起き上がる」という言葉は(クーム)という

原語で(生き返る)という意味もあり、まさに“新しい命を与えられる”ことを願っているのです！ただし、再び起き上がって何をするのかと見ますと「そうしてくだされば、彼らを見返すことができます」と言っています。この「見返す」の原語は(シャーラム)で(報復する)という強い言葉なのです。即ち、元に戻ったら、裏切った友や家族に復讐するために“生き返らせてほしい”と願っているのです。

これは私たちのイースターの願いではありません。復讐するためにイエス様は生き返られたのではないのですから。十字架の上で『父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。』とすべてを赦しておられました。故に、弟子たちだけでなくすべての人が主の御許へと招かれているのです。決して、復讐のために復活されたわけではありません。これが私たちキリスト者の復活信仰の本質です！

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 4月10(水) 20:00
II. 4月11(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈禱主題: 会堂管理委員会を覚えて
担当者: (水)岡田 (木)高橋
祈りに覚える人: 吉澤さん 相浦さん

【教勢報告】

主日礼拝 男25 女69 計94
祈禱会 I. 男4 女3 計7 II. 男1 女10 計11
日曜学校 幼稚科13 小中科18 計31

【次週主日礼拝】 4月14日(日)

聖書: エレミヤ書 33:14~16
ルカによる福音書 1:51~66
説教: 「ルカ⑨ - 先祖からの約束に答えて」
武田真治牧師

讃美歌: 333(1)、32、363、174、457、
37(1)

【次週当番表】

司式:岩佐長老 奏楽:勝 礼拝:齋藤老
献金:岡本 小草 受付:鈴 橋本
会堂準備:飯島 岡本 金刺 中村
森本

看板:岩佐 週報:金刺 お花:茨木

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・壮年/婦人/ダビデ会

2024年 4月 7日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>